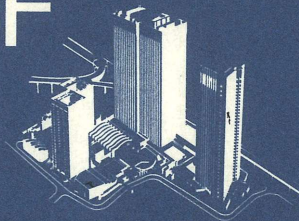


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報

May 8, 1987

No. 28

今年度のターゲット (M.A.T.カバラスRI会長)

ロータリーは希望をもたらす

ROTARY BRINGS HOPE

○ 本日の予定

昭和62年 5月 8日 (第30回)

地区協議会開催 (於/ホテルパシフィック 東京 時/10:00 ~ 16:00)

の為、卓話はありません

◎鎮魂の海/石川 久夫君記

晴海を出港して十一日、べた風のソロモンの海を「にっぽん丸」はブーゲンビルの島影を左手に見ながらガダルカナル島に向かって南下してゆく。

「あなた許して下さい!! わかって下さい!! お詫びに参りました!!」。四十四年前、夫をこの海で失ひ、戦後再婚したというAさんは悲痛に叫ぶと、昨夜船室で切り取った一房の髪を紺碧の海に投げる。「お兄さん!!」「タナカー、やっと来たぞー」。手すりから身を乗り出して叫ぶ遺族、戦友達の間から嗚咽が高まり、卒塔婆が、花束が海面に次々と投ぜられる。嗚咽の渦から少し離れたデッキで、この海域で新婚の夫を亡くしたTさんが、独り黙々とみかんの皮をむき、一房、一房を船の手すりに並べている。海の底に眠る夫に食べさせようというのだろうか……。事件記者十年のベテランと豪語していた読売新聞のF記者が、カメラを構えたまま泣いている……。

一昨年、当社の創立25周年記念の事業として実施された「オールネイビー南太平洋慰霊の旅」。11月28日晴海を出港、硫黄島、サイパン、ラバウル、ブーゲンビル、ガダルカナル、トラック、グアムと廻って、あの悲惨な戦の犠牲となって、南太平洋の海底深く眠ったままの戦没者の霊を弔うための船旅である。平均年令65才、350名の船客達、親を、夫を、兄弟を、友を失ったこの人々にとって訪れた、鎮魂の海は、あくまでも碧く、あまりにも深く静かであった。



昭和62年 5月 1日 (第29回)

◎卓 話：『よもやま話』 池部 良氏 (東京南RC／日本映画俳優協会理事長)

司 会： 田辺 賢三 会長

♪ ローターソング：君が代 日も風も星も ソングリーダー：沖 宏之君

ニコニコBOX 紹介：入沢頼二君

来客紹介：石川久夫君

出席状況	会 員	36 名中	出席	29名	欠席	7名
	来 客	6 名	(都内	6名	地方	0名)
			○	会員出席率	81%	

お誕生日 村川 優君 4月23日

◎ニコニコボックス (敬称略・順不同)

東京新南RC

村川 優

チャーターナイトの会計をすべて終わりました 皆さんお世話になりました／誕生日のお祝いありがとうございました

河原 勢自

佐藤定宏さん、平井さん、斉藤さん写真有難うございました

石坂 二郎

Fire Side Meeting の写真有り難うございました

宮本 正祥

写真有難うございました

二宮 利泰

楽しい写真有難うございました

三溝 弘悦

前回、前々回欠席させて頂きましたので

本日の合計 6件 19,000 円

それぞれ、多額のご寄付を頂きました。有り難うございます。

◎Visitors (順不同・敬称略)

桜間金太郎

東京西北RC

日本能学会

監 事

栗野 常康

東京目黒RC

南海通商 銻

代表取締役

鈴木 忠敏

東京 芝RC

大成梱包運輸 銻

相談役

鈴木 治巳

東京 南RC

銻チェック商会

代表取締役

鈴木 喜七

〃

ニシキ産業 銻

代表取締役

ハインツ・シュミット 〃

カールツァイス 銻

社 長



機関雑誌のページをめくりながら、
はるか離れた各地を旅しましょう。

◎ 6 2 年 5 月 理 事 会 議 事 録

日 時／5月1日（金）11:30 ～ 12:00 例会前 場 所／東京全日空ホテル
出席者／田辺会長、田島会長エレクト、中野、沖、斉藤、佐藤理事 川鍋幹事
保科副幹事

決 議 事 項

1. 会 員 増 強 の 件

入会希望者面接日は毎月最終例会日とする

2. 米山奨学生のお世話を引き受ける件

奨学生、楊 清溪（国籍・台湾）89年 3月迄お世話を引き受けることを承認

奨学生のカウンセラーを田中武会員にお願いすることを承認

3. チャーターナイト収支報告の件

剰余金をポリオ・プラスに寄付することを承認

4. チャーターナイト記念アルバム

全員に配布

報 告 事 項

1. 会 計 報 告

以 上

卓 話：『よもやま話』 池部 良氏

62/5/1 記録／斉藤

池部 良です。南クラブに所属しております。

私が俳優になりましたのは昭和16年、大学（立橋大学）卒業と同時です。就職先の東宝で島津安三郎監督の目にとまり、『鬨魚』と云う映画で不良の弟を演じました。当初俳優というのは台詞を覚えたらバカでも出来る仕事だと軽蔑していたのですが、この仕事が終わったら演出の道に進ませてやるからと云う監督の言葉と17年 2月に兵隊に行く事が決まりましたので、よしそれならなんでも一つやってやろうと思った訳で、まっやけのヤンパチでなったという訳です。

この映画の役作りの中で、本当の姉^{きょうだい}らしくやれと云う事で、当時のお金で5円をもらい、姉さん役の女優さんと銀座等へ繰り出しました。そして姉さんが勘定を払い、実際には 2つ 3つ年下の女優さんでしたが、姉さん、姉さんと本当らしく慕ってゆける様に訓練しました。今ではとても考えられないやり方です。

さて、『鬨魚』のシーンの中で、姉と弟がジュースを飲み乍ら、語りあうと云う場面がありました。何せ僕は素人でしたから台詞より、ジュースを吸うのが精一杯でした。すると監督は、「良、いいぞ。映画は舞台と違うんだから台詞なんか聞こえなくとも、まずリアルにやんなきゃいけないんだ」とお誉めの言葉を下さるのです。今日までの俳優生活の中でも、監督の此の言葉は私の心に強く生き



ています。

話しは違いますが、当時内務省というのがありまして、俳優の国家試験がありました。まあ受けなきゃいけないというので、まず筆記試験。次に実技。立派な俳優さんの試験官を前にして、サラリーマンが昼になって電話でソバを注文するというのを演じさせられました。「池部だ。ザルソバーつ頼む」とやりました処試験官から「電話のダイヤルを廻してないからソバ屋に通じて無いぞ」等と云われました。まあ、とにかく合格し私の俳優への道の第一歩となった訳です。

試験が終わって戦争に5年間行き、21年6月、29才で帰って参りました。戦後東宝のオムニバス映画「4つの恋の物語」の内の1つ、「初恋」に出演しました。「初恋」の中で、相手役の当時16才の久我美子と木登りをする場面がありましたが、ネルの着物を着た彼女がモタモタ登る為、彼女に続いて兵隊で鍛えた私が後ろから思い切りよく登ってゆったので、スソの中に頭を突っ込むという今では楽しいエピソードもありました。

時間が少なくなって参りました。私の家内は森永製菓の創立者の孫になります。彼女はいわゆる、まあいわゆる良家の娘でありまして、池部良は文芸作品に出ている立派な俳優であると信じてきた訳です。高倉健とヤクザ映画をやった時には、「ヤクザなんかやらないで頂戴」と云われました。処がある時、新聞で「本物のヤクザが誉める池部良のヤクザぶり」と評が出た時には「凄いわねえ」と切り抜いておりました。さてさて。

どうもまとまりのつかない話しでした。本日はありがとうございました。

○ 次週の予定

昭和62年 5月15日 (第34回)

『タクシー業界の近況』／川鍋達朗君

受 付	来客紹介	会 計		ニコニコボックス	会 場
宮本	石川 飛島	四分一 福田	5/ 8	馬場 山田	保科 安藤 青野 馬場 石坂 入沢 河原 二宮 三溝 田中 山田 山川 保森 鈴木 以上全員で
平井	丸山 岩上	石川 山下	5/15	青野 二宮	
吉田	武下 佐藤	宮本 渡邊	5/22	河原 山川	
中野 岩上	山下 四分一	平井 丸山	5/29	田中 保森	
武下	吉田 福田	岩上 飛島	6/ 5	安藤 三溝 鈴木	
丸山	平井 渡邊	吉田 佐藤	6/12	入沢 石坂	

会長／田辺賢三 副会長／村川 優 幹事／川鍋達朗 会報／斉藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所所在地： 東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201 号
電 話： 505-5976 (ファクシミリは同番で切り替え)
